平成29年度

秋田市遺跡確認調査報告書

2018. 3　秋田市教育委員会

例　　言

1　本報告書は、平成29年３月１日から30年２月28日まで秋田市内に所在する遺跡および遺跡存在可能性地において、開発事業などに伴って実施した遺跡確認調査報告書である。
2　遺跡確認調査は、秋田市教育委員会が調査主体となり、国庫補助金ならびに県費補助金の交付を受けて行った。
3　調査については、秋田市観光文化スポーツ部文化振興課が補助執行で行った。
4　本書の執筆・編集は、眞井田が担当した。
5　出土遺物および記録類は、秋田市教育委員会が一括して保管する。
6　調査にあたって、文化庁文化財部記念物課および秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室より、指導を得た。

凡　　例

1　挿図の調査位置図については、主として秋田市都市計画図や秋田県森林基本図を使用した。
2　挿図の縮尺は不統一であり、各図ごとに縮尺を示した。また、図中の方位は、方位記号のない挿図については、上が真北を示している。
3　挿図の中には下記の記号を用いた。
　T−トレンチ、P−ピット

調査体制

調 査 主 体　　秋田市教育委員会
調 査 体 制　　秋田市観光文化スポーツ部文化振興課
　課　　長　　納　谷　信　広
　参　　事　　加　藤　隆　子
　文化財担当
　　副 参 事　　伊　藤　武　士（調査担当）
　　主　　査　　小　野　隆　志（調査担当）
　　主　　査　　眞井田　宏　彰（調査担当・主務者）
　　主　　査　　佐　藤　憲　彦
　　主　　任　　大　関　えりか（調査担当）
　　主　　事　　根　岸　絵莉子（調査担当）

目　　次

例　　言

凡　　例

調査体制

第１章　事 業 の 概 要 ･･･ 1

第２章　調 査 の 記 録

１　高梨台遺跡（高梨台市営住宅建築工事（第３期）予定地）･････････････････････････ 5

２　上北手大戸百崎地区農地集積加速化基盤整備事業予定地 ･････････････････････････ 8

３　山内字丸木橋地区太陽光発電所建設事業予定地 ･･････････････････････････････････ 10

４　下新城笠岡地区農地集積加速化基盤整備事業予定地 ･･････････････････････････････ 12

５　久保田城跡（県市連携文化施設整備事業に伴う関連施設移転事業予定地）･････････････ 14

報告書抄録

第１章　事業の概要

秋田市は、秋田県のほぼ中央部、日本海に面する秋田平野に位置している。秋田市内には、旧石器時代から近世までの遺跡が存在しており、埋蔵文化財の保護と開発事業に適切に対処するため、昭和61年から63年にかけて、国庫補助事業として市内全域の分布調査を実施している。その後、試掘・確認調査や平成17年の市町合併による遺跡の追加に伴い、現在、516か所の埋蔵文化財包蔵地が登録されている。

平成29年度は、周知の埋蔵文化財包蔵地または遺跡存在可能性地における公共事業や民間の開発事業などについて、事前の事業照会と協議、分布調査による確認を経て、詳細な把握が必要な箇所の試掘・確認調査を実施した。試掘調査を実施した箇所については、表１・第１図に示し、第２章で詳細について述べる。その他、遺跡内における土木工事等については、文化財保護法93条および94条の手続きをとり、立会調査条件で立会調査を実施した箇所について表２に、慎重工事としたものは表３に示した。また、試掘調査には至らなかったものの、事前に分布調査を実施した箇所は表４に示した。なお、今年度は試掘・確認調査を経て発掘調査を実施したものはなかった。

本書には、平成29年３月１日から平成30年２月28日までに行った調査について掲載し、平成30年３月１日以降に実施した調査は、次年度に報告する。

表１　試掘・確認調査実施一覧表

No	事　業　名	遺跡名	所　在　地	事業主体	事業概要	調査期日
1	新藤田字高梨台地区 高梨台市営住宅建築工事	高梨台遺跡	新藤田字高梨台173-2	秋田市	市営住宅建築工事	H29.7.6 ～7
2	上北手大戸百崎地区 農地集積加速化基盤整備事業		上北手大戸百崎地内	秋田県秋田地域振興局	基盤整備事業	H29.10.30
3	山内字丸木橋地区 太陽光発電所建設事業		山内字丸木橋160ほか	ユニサンジャパン株式会社	太陽光発電所建設	H29.11.2
4	下新城笠岡地区 農地集積加速化基盤整備事業		下新城笠岡地内	秋田県秋田地域振興局	基盤整備事業	H29.11.6 ～7
5	千秋矢留町地区 県市連携文化施設整備事業に伴う関連施設移転事業	久保田城跡	千秋矢留町9番22	秋田市	県市連携文化施設整備事業に伴う関連施設移転事業	H29.11.13 ～20

第１図　試掘・確認調査位置図（１：100,000）

表２　立会調査一覧

No.	事　業　名	事業者名	所　在　地	該当遺跡	申請日	対応分類	調査日	調査員	調査結果
1	公園整備	秋田市	千秋公園地内	久保田城跡	H28.11.15	94条	H29.2.7･28、3.10	眞井田	遺構・遺物なし
2	公園整備	秋田市	千秋公園地内	久保田城跡	H29.1.30	94条	H29.2.23、3.1	眞井田	遺構・遺物なし
3	店舗建築	株式会社ローソン運営本部東北エリアサポート部	土崎港中央5-65ほか	湊城跡	H29.1.30	93条	H29.3.13	北林	遺構・遺物なし
4	住宅建築	個人	金足小泉字潟向2-9	潟向Ⅱ遺跡	H29.2.20	93条	H29.3.16	北林	遺構・遺物なし
5	コンクリート柱移設	東北電力株式会社秋田営業所	千秋矢留町11-59地先	久保田城跡	H29.2.17	93条	H29.3.22	北林	遺構・遺物なし
6	下水道管埋設	秋田市	千秋公園地内	久保田城跡	H29.3.28	94条	H29.4.3	眞井田	遺構・遺物なし
7	側溝改良	秋田市	河辺和田字宮崎地内	坂本館	H29.1.10	94条	H29.4.4	眞井田	遺構・遺物なし
8	配水管埋設	秋田市上下水道局	新藤田字治郎沢地内	高梨台遺跡	H29.2.13	94条	H29.4.7	大関	遺構・遺物なし
9	住宅建築	個人	千秋北の丸7-53ほか	久保田城跡	H29.3.13	93条	H29.4.12	大関	遺構・遺物なし
10	配水管埋設	秋田市上下水道局	土崎港南一丁目地内	後城遺跡	H29.1.6	94条	H29.4.13	眞井田	遺構・遺物なし
11	仮設電柱・避雷針アース棒設置	宗教法人天徳寺	泉三嶽根10-1	万固山天徳寺	H29.4.10	93条	H29.4.24	眞井田	遺構・遺物なし
12	下水道管埋設	秋田市上下水道局	新藤田字高梨台地内	高梨台遺跡	H29.4.17	94条	H29.4.25、5.25	眞井田	遺構・遺物なし
13	配水管・電線管埋設	株式会社中央不動産事務所	千秋公園1-3	久保田城跡	H29.4.13	93条	H29.5.11、6.14	眞井田	遺構・遺物なし
14	コンクリート柱撤去	東北電力株式会社秋田営業所	新藤田字高梨台173	高梨台遺跡	H29.4.28	93条	H29.5.19	眞井田	遺構・遺物なし
15	住宅建築	個人	上北手古野字脇ノ田49	古野館	H29.3.6	93条	H29.5.22	眞井田	遺構・遺物なし
16	住宅建築	個人	新藤田字高梨台186-5	高梨台遺跡	H29.3.3	93条	H29.5.30	小野 眞井田	遺構・遺物なし
17	コンクリート柱支線移設	東北電力株式会社秋田営業所	千秋久保田町6-10	久保田城跡	H29.6.16	93条	H29.6.23	大関	遺構・遺物なし
18	住宅建築	個人	千秋北の丸102-2	久保田城跡	H29.4.25	93条	H29.7.24	眞井田 根岸	遺構・遺物なし
19	太陽光発電所建設	大和ハウス工業株式会社	添川字湯沢256-14ほか	湯沢台牧場遺跡	H29.6.30	93条	H29.8.16、9.20	眞井田	遺構・遺物なし
20	配水管埋設	秋田市上下水道局	手形山南町地内	柳沢遺跡	H29.5.30	94条	H29.8.17	伊藤 根岸	遺構・遺物なし
21	配水管埋設	秋田市上下水道局	飯島字天ノ袋地内	平右衛門田尻遺跡	H29.7.20	94条	H29.8.18	眞井田 根岸	遺構・遺物なし
22	市営住宅建築	秋田市	新藤田字高梨台173-2	高梨台遺跡	H29.7.18	94条	H29.8.25･28	眞井田	遺構なし・遺物あり (29年度に試掘調査を実施)
23	住宅建築	個人	千秋城下町2-32	久保田城跡	H29.7.21	93条	H29.9.13	大関	遺構・遺物なし
24	住宅建築	個人	新藤田字高梨台10-9ほか	高梨台遺跡	H29.8.18	93条	H29.9.21	眞井田 根岸	遺構・遺物なし
25	住宅建築	個人	新藤田字高梨台112-9	高梨台遺跡	H29.9.2	93条	H29.9.28	眞井田	遺構・遺物なし
26	配水管埋設	秋田市上下水道局	飯島字穀丁地内	穀丁遺跡	H29.7.24	94条	H29.9.29	眞井田	遺構・遺物なし
27	配水管埋設	秋田市上下水道局	土崎港中央6地内	湊城跡	H29.7.24	94条	H29.10.2	眞井田	遺構・遺物なし
28	住宅建築	個人	土崎港中央5-105-5ほか	湊城跡	H29.8.28	93条	H29.10.11	伊藤 根岸	遺構・遺物なし
29	公園整備	秋田市	保戸野桜町地内	一ノ坪条里制遺構	H29.9.6	94条	H29.10.18	眞井田	遺構・遺物なし
30	住宅建築	個人	川尻大川町17	下タ野遺跡	H29.10.17	93条	H29.11.30	根岸	遺構・遺物なし
31	住宅建築	トヨタカローラ秋田株式会社	手形字大沢44-2ほか	蛇野遺跡	H29.9.5	93条	H29.12.7	佐藤 根岸	遺構・遺物なし
32	住宅建築	個人	寺内後城14-1	後城遺跡	H29.11.14	93条	H29.12.18	佐藤 根岸	遺構・遺物なし
33	暗渠排水工事	秋田県地域振興局	雄和平沢字袖又11ほか	平沢遺跡	H29.9.27	94条	H29.12.22	眞井田	遺構・遺物なし
34	住宅建築	個人	川尻大川町16	下タ野遺跡	H29.10.30	93条	H29.12.22	根岸	遺構・遺物なし
35	住宅建築	個人	新藤田高梨台156-5	高梨台遺跡	H29.11.14	93条	H30.1.9	大関	遺構・遺物なし
36	下水道管埋設	秋田市上下水道局	太平寺庭字寺庭地内	寺庭Ⅰ遺跡	H29.11.16	94条	H30.1.17	眞井田	遺構・遺物なし
37	公園整備	秋田市	千秋公園地内	久保田城跡	H29.12.21	94条	H30.1.17	眞井田	遺構・遺物なし
38	コンクリート柱移設	東北電力株式会社秋田営業所	新藤田字高梨台173	高梨台遺跡	H30.1.18	93条	H30.1.24、2.14	眞井田	遺構なし・遺物あり
39	研修室建築	社会福祉法人感恩講	寺内神屋敷1-1ほか	神屋敷遺跡	H30.1.4	93条	H30.1.25	眞井田	遺構・遺物なし
40	消火栓移設	秋田市上下水道局	新藤田高梨台地内	高梨台遺跡	H29.12.14	94条	H30.1.30	眞井田	遺構・遺物なし
41	コンクリート柱移設・撤去	東北電力株式会社秋田営業所	新藤田字高梨台173	高梨台遺跡	H30.2.1	93条	H30.2.14	眞井田	遺構・遺物なし

表３　慎重工事一覧

No.	事　業　名	事業者名	所　在　地	該当遺跡	申請日	対応分類	備　　考
1	藤棚改修	秋田市	千秋公園地内	久保田城跡	H29.4.5	94条	

表４　分布調査一覧

No.	事　業　名	事業者名	所　在　地	申請日	対応分類	調査日	調査員	調査結果
1	太陽光発電所建設	Green Century 合同会社	添川字湯沢 256-1	H29.4.18	事前調査依頼	H29.4.25、5.16	伊藤 眞井田	埋蔵文化財保護の協議 立会調査必要
2	携帯電話基地局建設	ＫＤＤＩ株式会社仙台テクニカルセンター	金足黒川字馬込 103-3	H29.5.22	事前調査依頼	H29.5.25	眞井田	遺跡なし
3	携帯電話基地局建設	株式会社ＮＴＴドコモ	桜 1-110-2 の内	H29.6.7	事前調査依頼	H29.6.14	眞井田	遺跡なし
4	太陽光発電所建設	電現ソーラーパーク２株式会社	河辺松渕字東沢 78	H29.7.12	事前調査依頼	H29.7.18	伊藤 眞井田	立会調査必要
5	高圧送電線建て替え	東北電力株式会社	雄和繋字字土沢 50-3、 雄和神ヶ村字家ノ沢 86-2 ほか	H29.7.13	事前調査依頼	H29.7.19	眞井田	遺跡なし
6	分譲宅地	三和商事株式会社	桜 1-188-1 ほか	H29.7.10	開発事前協議	H29.7.19	眞井田	遺跡なし
7	分譲宅地	共和ホーム株式会社	土崎港北 3-121-10 ほか	H29.7.27	開発事前協議	H29.7.31	伊藤 眞井田	遺跡なし
8	分譲宅地	株式会社リスニング秋田	仁井田本町 3-24-2 ほか	H29.8.2	開発事前協議	H29.8.3	眞井田	遺跡なし
9	ライスセンター建築	農事組合法人南雄和地区ライスセンター利用組合	雄和向野字築土手 70-1、 字吹欠下 24	H29.9.25	事前調査依頼	H29.9.25	伊藤 眞井田	遺跡なし
10	携帯電話基地局建設	コスモシステム株式会社	八橋田五郎 2-152-1	H29.9.29	事前調査依頼	H29.10.2	眞井田	遺跡なし
11	携帯電話基地局建設	ＫＤＤＩ株式会社仙台テクニカルセンター	太平八田字荒巻 193	H29.9.29	事前調査依頼	H29.10.5	眞井田	遺跡なし
12	太陽光発電所建設	株式会社角屋ハウジング	河辺戸島北ノ沢駒坂台 82-6 ほか	H30.1.12	事前調査依頼	H30.1.22	眞井田	遺跡なし
13	風力発電所建設	株式会社グリース	下浜長浜字長坂 157-180	H30.1.12	事前調査依頼	H30.1.23	伊藤	遺跡なし
14	分譲宅地	トーケンホーム株式会社	旭川新藤田西町 161-26 ほか	H30.1.25	開発事前協議	H30.1.30	眞井田	遺跡なし
15	携帯電話基地局建設	ＫＤＤＩ株式会社仙台テクニカルセンター	下浜八田字舘腰 71-3	H30.2.13	事前調査依頼	H30.2.19	伊藤	遺跡なし

第２章　調査の記録

１　高梨台遺跡（高梨台市営住宅建築工事（第３期）予定地）

１　調 査 地　　秋田市新藤田字高梨台173-２

２　調査期日　　平成29年７月６日～７日

３　調査面積　　125.63㎡（調査対象面積　3,700㎡）

４　起因事業　　高梨台市営住宅建築工事

５　調査に至る経緯

秋田市（都市整備部住宅整備課）は、高梨台遺跡が所在する秋田市新藤田字高梨台173-２に高梨台市営住宅建築工事（第３期）を予定していることから、平成29年６月12日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と範囲確認調査を実施した。

６　立地と現況

調査地は、秋田市街地の東部、旭川左岸に広がる羽黒山丘陵の南西端につながる手形山台地の西の一角に立地する高梨台遺跡（縄文）の北端に位置する（第２図）。標高は約38ｍで、現況は宅地である。当該地の周辺には、東側に中台遺跡（縄文）・大松沢Ⅰ遺跡（縄文・平安）・中山台遺跡（奈良・平安）、大松沢Ⅱ遺跡（中世）などが所在する。

７　調査の概要および結果

調査は、工事予定地に幅1.7ｍのトレンチを４本設定し、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。

(1) 層序

調査地の基本層序は、１号トレンチは、第Ⅰ層 褐色砂（造成土、20㎝）、第Ⅱ層 黄褐色粘土が混じる褐色粘質土（造成土、15㎝）、第Ⅲ層　赤褐色粘土粒が混じる褐色粘質土（造成土、10㎝）、第Ⅳ層 瓦片・赤褐色粘土粒が混じる黒褐色土（造成土、20～50㎝）、第Ⅴ層　灰色・黄褐色粘土粒が混じる暗褐色粘質土（造成土、10～25㎝）、第Ⅵ層 灰褐色粘質土（造成土、15㎝）、第Ⅶ層 植物遺体が混じる暗褐色土（スクモ層、15㎝）、第Ⅷ層 グライ化した青灰色粘土・黄灰色粘土（20㎝）、第Ⅸ層 黄褐色粘土（地山、５㎝以上）である。２～４号トレンチは、第Ⅰ層　褐色砂（造成土、３～40㎝）、第Ⅱ層 瓦片・赤褐色粘土粒が混じる黒褐色土（造成土、40㎝）、第Ⅲ層　灰黄褐色粘質土（造成土、15㎝）、第Ⅳ層 黄褐色粘土（地山、25㎝以上）である。第Ⅱ・Ⅲ層は、２号トレンチで確認した。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構は確認されなかった。遺物は、１号および２号トレンチの中央付近から、いぶし瓦や塩焼き瓦片（桟瓦・軒瓦）が出土した。また、１号トレンチから鉄製品（かすがい）が出土した。

(3) 所見

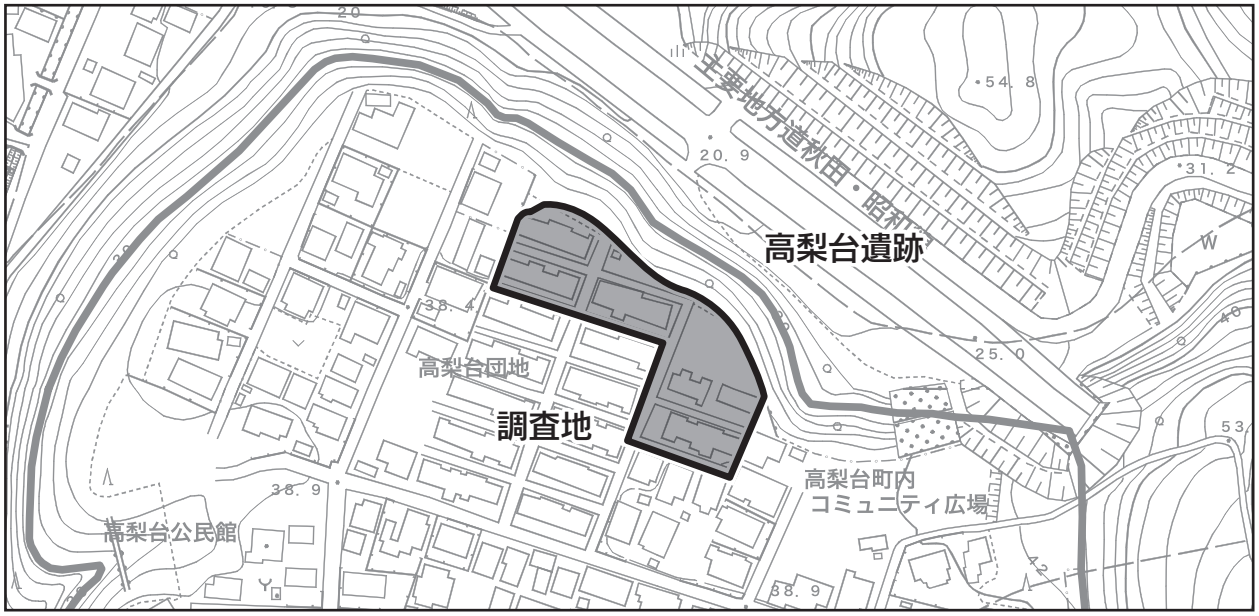
１号トレンチ中央付近で沢状の落ち込みを、３・４号トレンチの現地表面直下で地山を確認した。また、１・２号トレンチからは近世以降の瓦片が出土した。

出土した瓦の大多数が破片であること、明確な遺構を伴わないこと、土層の堆積状況、平成27～28年度の調査結果などから、調査地は、旧地形の大部分が昭和30年代後半の宅地造成時に削平され、同

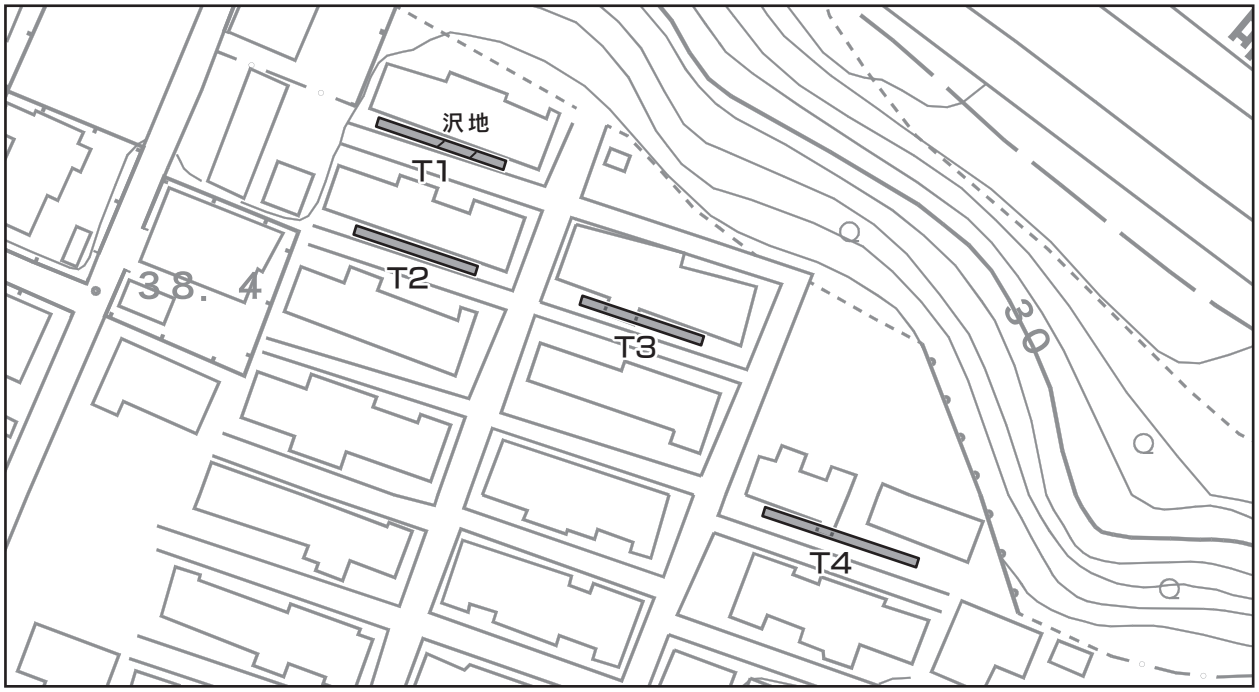
時に沢地を埋めたと考えられる。なお、調査地近隣に窯や灰原が存在した可能性もあるが、上記のとおり既に大規模に削平されたと考えられ、今回の調査では確認できなかった。

調査の結果、瓦片が出土したものの詳細は不明であること、遺構・遺物包含層は発見されず遺跡への影響はないことから、工事施工に際しては立会調査を条件に実施することとした。なお、平成29年８月25・28日に工事掘削時の立会調査を実施したが、遺構は確認されなかった。

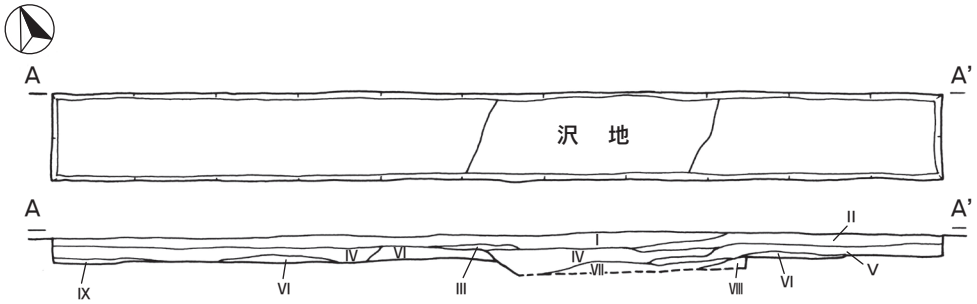
（調査担当：伊藤・眞井田）



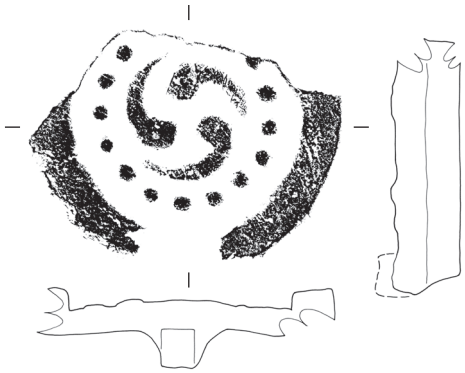
第２図　高梨台遺跡調査位置図（Ｓ＝１／2,500）



第３図　トレンチ位置図（Ｓ＝１／1,000）



第４図　１号トレンチ平面図・断面図（Ｓ＝１／150）



第５図　２号トレンチ出土　いぶし瓦（Ｓ＝１／４）

１号トレンチ沢状の落ち込み平面（南西→）

１号トレンチ沢状の落ち込み土層状況（南東→）

２号トレンチ平面（北西→）

３号トレンチ平面（南東→）

２　上北手大戸百崎地区農地集積加速化基盤整備事業予定地

１　調 査 地　　秋田市上北手大戸百崎地内

２　調査期日　　平成29年10月30日

３　調査面積　　38.16㎡（調査対象面積　97,000㎡）

４　起因事業　　農地集積加速化基盤整備事業

５　調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市上北手大戸百崎地内に農地集積加速化基盤整備事業を予定していることから、平成29年９月27日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

６　立地と現況

調査地は、秋田市街地の南東部、大戸川左岸の秋田低地に位置する（第６図）。標高は８～９ｍで、現況は水田である。

当該地の周辺には、北側に堀内館（中世）、南西側に諏訪ノ沢遺跡（縄文・奈良・平安）・前田遺跡（縄文・奈良・平安）などが所在することから、遺跡が存在する可能性がある地域である。

７　調査の概要および結果

調査は、工事予定地に幅1.8ｍのトレンチを７本設定し、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層　褐色土（表土・耕作土、20㎝）、第Ⅱ層　小礫が混じる灰褐色粘質土（造成土、50～80㎝）、第Ⅲ層 植物遺体が混じる灰褐色粘土層（５㎝以上）、第Ⅳ層 植物遺体層（スクモ層、10㎝以上）、第Ⅴ層　グライ化した青灰色粘土（地山、20㎝以上）である。第Ⅲ層は、１号トレンチで確認した。第Ⅳ層は、２・３・５～７号トレンチで確認した。第Ⅴ層は４号トレンチで確認した。

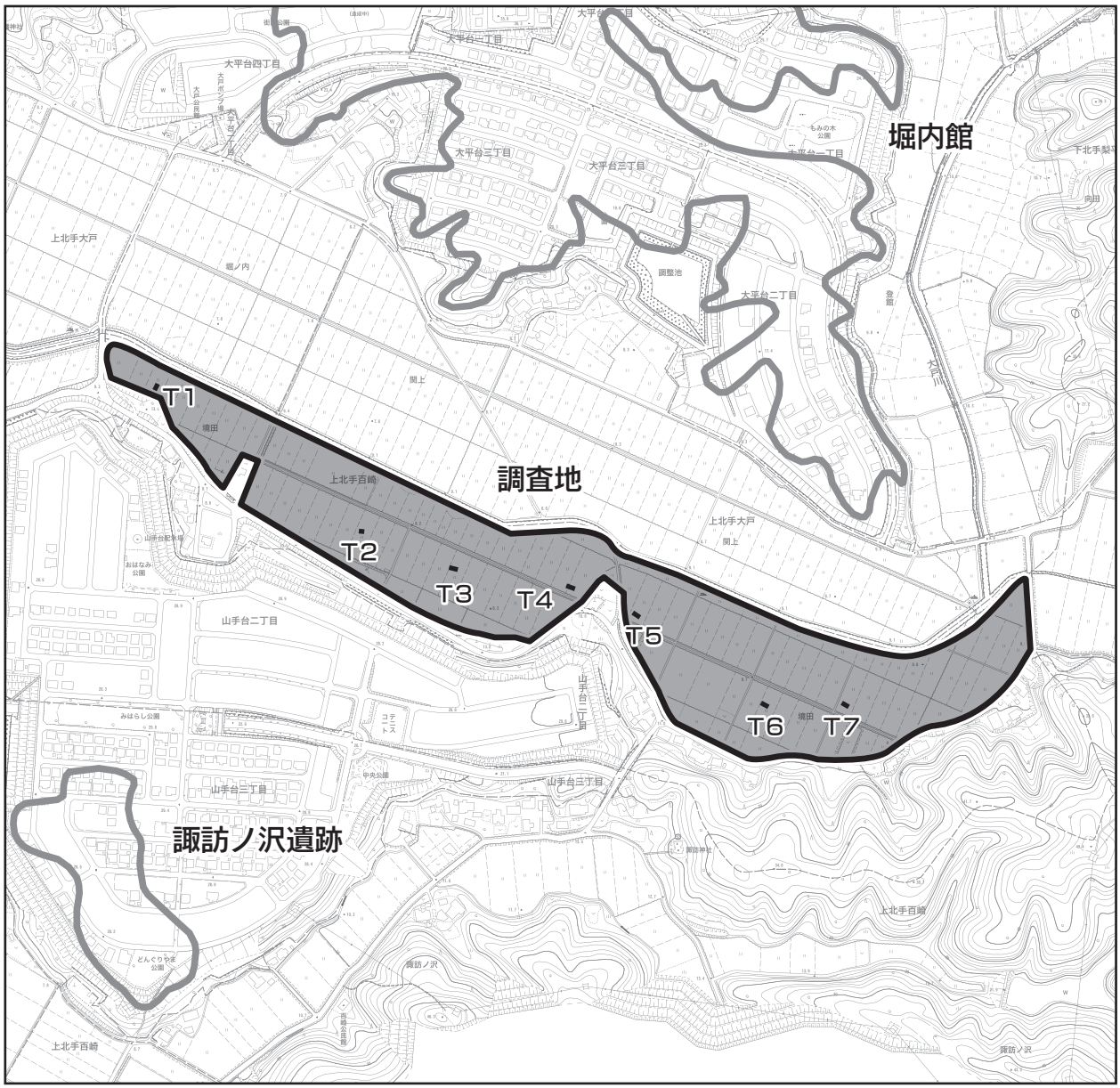
(2) 検出遺構と出土遺物

遺構・遺物は確認されなかった。

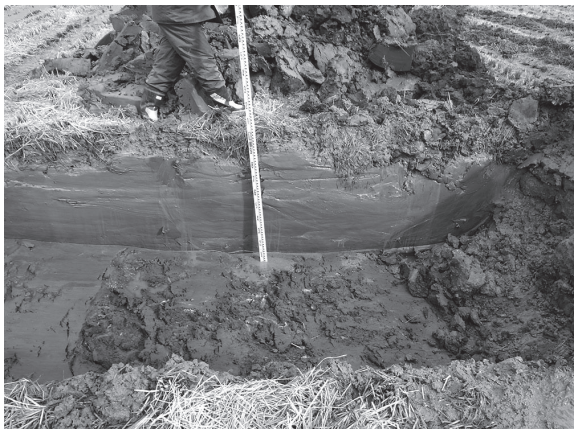
(3) 所見

調査の結果、調査地の旧地形は大戸川の氾濫原で湿地であったと考えられ、遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：伊藤・眞井田）



第６図　上北手大戸百崎地区農地集積加速化基盤整備事業予定地調査位置図（Ｓ＝１／7,500）



２号トレンチ土層状況（南→）

４号トレンチ平面（西→）

３　山内字丸木橋地区太陽光発電所建設事業予定地

１　調 査 地　　秋田市山内字丸木橋160、162、163、38番３、158番２

２　調査期日　　平成29年11月２日

３　調査面積　　50.35㎡（調査対象面積　20,829㎡）

４　起因事業　　太陽光発電所建設事業

５　調査に至る経緯

ユニサンジャパン株式会社 代表取締役 藤縄雅は、秋田市山内字丸木橋160、162、163、38番３、158番２に太陽光発電所建設工事を予定していることから、平成29年10月20日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

６　立地と現況

調査地は、秋田市街地の北部、旭川左岸に広がるの羽黒山丘陵にある河岸段丘上に位置する（第７図）。標高は76～80ｍで、現況は休耕田である。この休耕田は、調査地中央で西から南東に入り込む沢を挟んで、南側は１段の平場、北側は南西に向かって傾斜する５段の平場からなる。

当該地の周辺には、北側に丸木橋Ⅰ遺跡（縄文）、北東側に丸木橋Ⅱ遺跡（縄文）・丸木橋Ⅲ遺跡（縄文）・郷土館（中世）などが所在することから、遺跡が存在する可能性がある地域である。

７　調査の概要および結果

調査は、工事予定地に幅1.7ｍのトレンチを７本設定し、人力とバックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、５～20㎝）、第Ⅱ層 黒褐色・黄橙褐色・灰白色粘土ブロックが混じる黄褐色粘質土（造成土、15～80㎝）、第Ⅲ層　暗褐色土（旧表土、20㎝）、第Ⅳ層　植物遺体層（スクモ層、20㎝）、第Ⅴ層　黄褐色粘土（地山、20㎝以上）である。第Ⅲ層は、３・６号トレンチで確認した。第Ⅳ層は、２号トレンチで確認した。４・５号トレンチは、第Ⅰ層直下が第Ⅴ層であった。

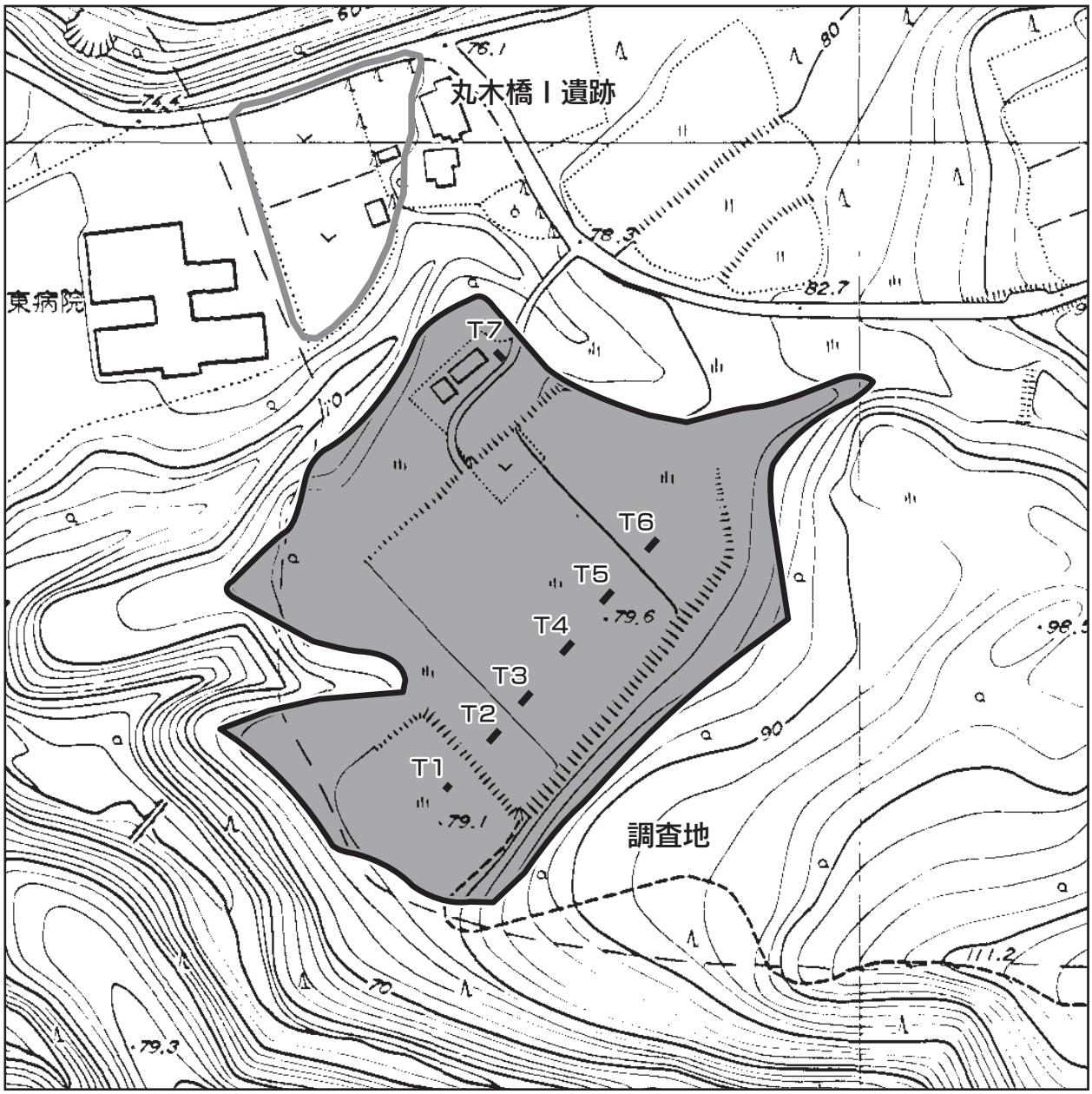
(2) 検出遺構と出土遺物

遺構・遺物は確認されなかった。

(3) 所見

調査の結果、調査地北側（沢の北側）は、南西に向かって傾斜し２号トレンチ周辺で沢底になる旧地形を、過去の水田開発で上部より削平しながら造成したものと考えられる。また、調査地南側（沢の南側）は、尾根状であった旧地形を削平したものと考えられる。以上のことから、遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：伊藤・眞井田）



第７図　山内字丸木橋地区太陽光発電所建設事業予定地調査位置図（Ｓ＝１／2,000）

２号トレンチ土層状況（南東→）

５号トレンチ平面（北東→）

４　下新城笠岡地区農地集積加速化基盤整備事業予定地

１　調 査 地　　秋田市下新城笠岡地内

２　調査期日　　平成29年11月６日～７日

３　調査面積　　66.56㎡（調査対象面積　125,000㎡）

４　起因事業　　農地集積加速化基盤整備事業

５　調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市下新城笠岡地内に農地集積加速化基盤整備事業を予定していることから、平成29年９月27日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

６　立地と現況

調査地は、秋田市の北部、新城川左岸の新城川低地に位置する（第８図）。標高は10～11ｍで、現況は水田である。

当該地の周辺には、東側に源内沢Ⅰ遺跡（縄文）・岩城館（中世）、西側に嶋下り遺跡（奈良・平安）、南側に飯岡館（中世）、北側に佐戸反遺跡（平安）・笠岡館（中世）などが所在することから、遺跡が存在する可能性がある地域である。

７　調査の概要および結果

調査は、工事予定地に幅1.6ｍのトレンチを12本設定し、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 褐色土（表土・耕作土、10～20㎝）、第Ⅱ層 小礫が混じる暗褐色・青灰色粘質土（造成土、10～100㎝）、第Ⅲ層　植物遺体層（スクモ層、20㎝以上）、第Ⅳ層　灰褐色粘土（堆積土、20㎝）、第Ⅴ層 植物遺体層（スクモ層、５㎝以上）、第Ⅵ層 砂・スクモが若干混じるグライ化した青灰色粘土（20㎝以上）、第Ⅶ層　　砂・黄褐色粘土が混じるグライ化した青灰色粘土(地山、20㎝以上)である。第Ⅳ・Ⅴ層は、２号トレンチで確認した。第Ⅵ層は、１・11号トレンチで確認した。第Ⅶ層は３号トレンチで確認した。１・３・11号トレンチでは、第Ⅲ層を確認できなかった。

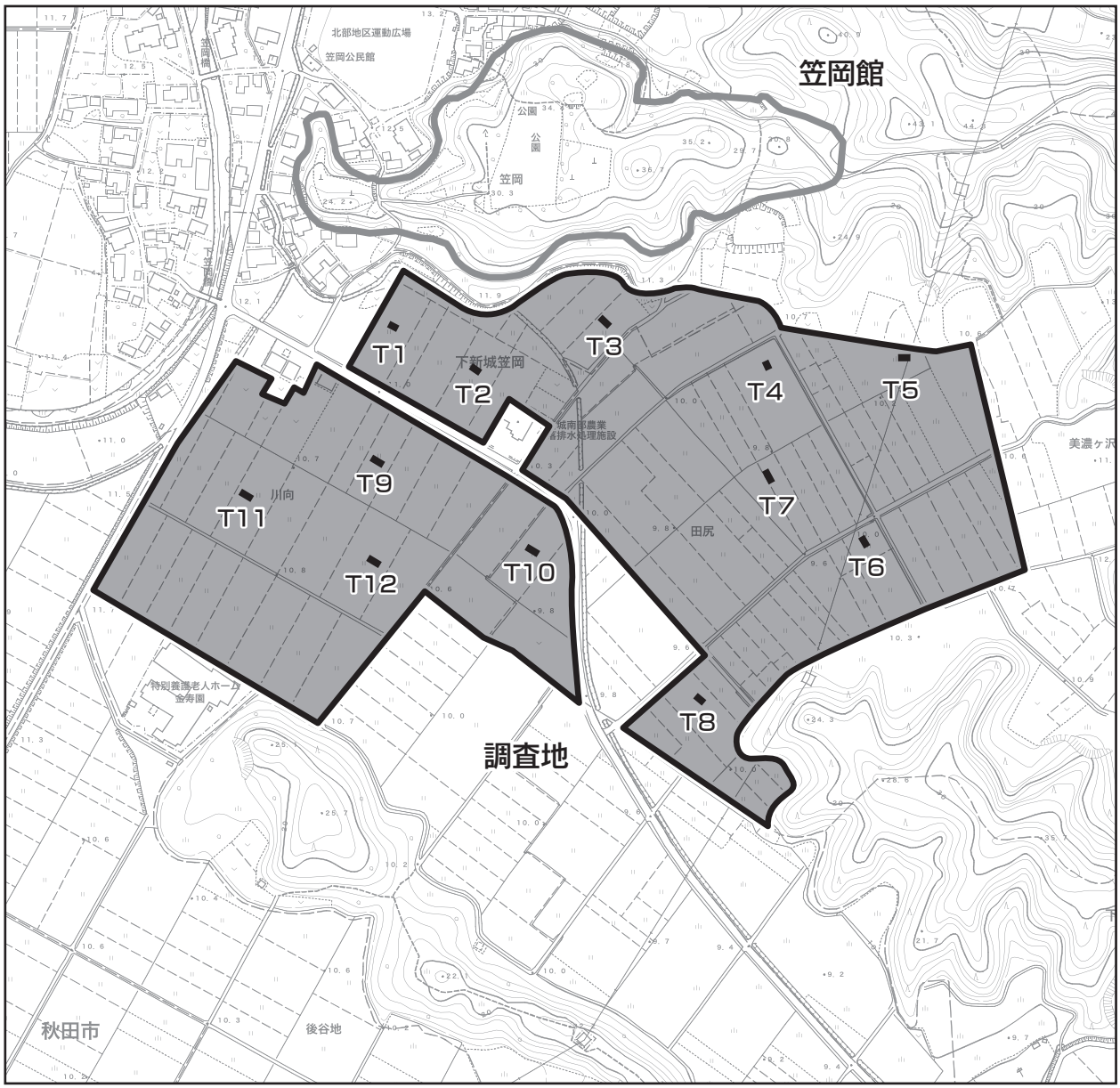
(2) 検出遺構と出土遺物

遺構・遺物は確認されなかった。

(3) 所見

調査の結果、調査地の旧地形は新城川および支流となる小河川の氾濫原で湿地であったと考えられ、遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：伊藤・眞井田）



第８図　下新城笠岡地区農地集積加速化基盤整備事業予定地調査位置図（Ｓ＝１／5,000）

３号トレンチ平面（北西→）

１０号トレンチ土層状況（北東→）

５　久保田城跡（県市連携文化施設整備事業に伴う関連施設移転事業予定地）

１　調 査 地　　秋田市千秋矢留町９番22

２　調査期日　　平成29年11月13日～20日

３　調査面積　　230㎡（調査対象面積　3,582.56㎡）

４　起因事業　　県市連携文化施設整備事業に伴う関連施設移転事業

５　調査に至る経緯

秋田市（企画財政部企画調整課）は、秋田市千秋矢留町９番22に県市連携文化施設整備事業に伴う関連施設移転事業を予定していることから、平成29年11月７日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と範囲確認調査を実施した。

６　立地と現況

調査地は、秋田市街地の中央部、千秋公園が所在する千秋公園台地西側直下の低地で、旭川の旧河道から右岸側にあたると推定される（第９図）。標高は7～８ｍで、現況は和洋女子高等学校のグラウンドである。

当該地は、周知の遺跡である久保田城跡の範囲内であり、西側の内堀から兵具庫の郭にあたる場所である。周辺には、古川堀反遺跡、藩校明徳館跡、東根小屋町遺跡が所在し、発掘調査により武家屋敷などの遺構・遺物が確認されている。

７　調査の概要および結果

調査は、工事予定地に幅５ｍのトレンチを１本設定し、バックホーおよび人力によって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層　グラウンド舗装（人工芝・ウレタン舗装・アスコン、10㎝）、第Ⅱ層　グラウンド造成土（砕石、30～70㎝）、第Ⅲ層　コンクリートが混じる褐灰色土（グラウンド地盤改良土、10～35㎝）、第Ⅳ層　植物遺体が混じる茶褐色土（調査区東端のみで確認できる部分的な流れ込み、20㎝）、第Ⅴ層　青灰色・褐灰色砂質土（内堀を埋めた宅地造成土、10～30㎝）、第Ⅵ層　黒褐色土（内堀側で確認できるゴミや木片等が多量に混入する層、旧秋田赤十字病院解体時の造成土・内堀埋め立て土、10～20㎝）、第Ⅶ層　灰褐色土（近世の堆積土、25㎝）、第Ⅷ-１層　黒褐色土（内堀に堆積したスクモ層、25～50㎝）、第Ⅷ-２層　茶褐色土（内堀に堆積したスクモ層、10～20㎝）、第Ⅸ層　白色小礫が混じる灰褐色・灰黄褐色粘土（近世造成土、10～25㎝）、第Ⅹ層　植物遺体が混じるグライ化した灰白色・青灰色粘土（地山、旧旭川河床堆積土、25㎝以上）、第Ⅺ層　グライ化した青灰色粘土（地山、280㎝以上）である。

層序は、後述する内堀西岸を境として、調査地西側(兵具庫平場側)と調査地東側(内堀側)で異なっている。西側では第Ⅳ・Ⅵ～Ⅷ・Ⅹ層を除く第Ⅰ層から第Ⅺ層が、東側では第Ⅺ層を除く第Ⅰ層から第Ⅹ層が確認されている。

調査地西側では、旧秋田赤十字病院の解体時およびその後の県公舎造成時に大きく削平と撹乱を受けており、遺物の包含が少ない近世初頭と推定される整地層（第Ⅸ層）を１層のみ、地山直上で確認した。

調査地東側の内堀跡では、近代以降の内堀埋め立て土の直下から、内堀機能時の滞水状態で自然堆積した植物遺体層（第Ⅷ-１層・第Ⅷ-２層）が確認されたが、内堀東側から中央部では、遺物の包含は確認されなかった。内堀西岸部では第Ⅸ層とした整地層およびその堀への流れ込み（第Ⅶ層）があり、部分的に近世の遺物を包含する状況が把握された。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構として内堀跡と兵具庫郭の平場を検出した。

内堀跡については、城側の内堀東岸は確認されず、東側から中央部の堀底部についても防禦に伴う造作等は検出されなかった。内堀の深さは2.2m前後である。内堀東岸と推定される調査区外の現歩道東端から、約21m西側で内堀西岸を検出している。内堀西岸では、幅12㎝前後×長さ50㎝前後の板材を縦に３段以上重ねる形で連続して護岸されている状況を確認した。

兵具庫郭の平場については、削平を受けているが、内堀西岸部から西に約14m前後の範囲で近世初頭と推定される第Ⅸ層整地層を検出し、同面上で小柱の堀り方（Ｐ１）を検出した。また同層上部より近世陶磁器片、最下部より板材の出土を確認している。

それより西側については、旧秋田赤十字病院建設・解体時および県公舎建設・解体時の撹乱・削平を大きく受けており、遺物包含層と遺構は検出されなかった。

(3) 所見

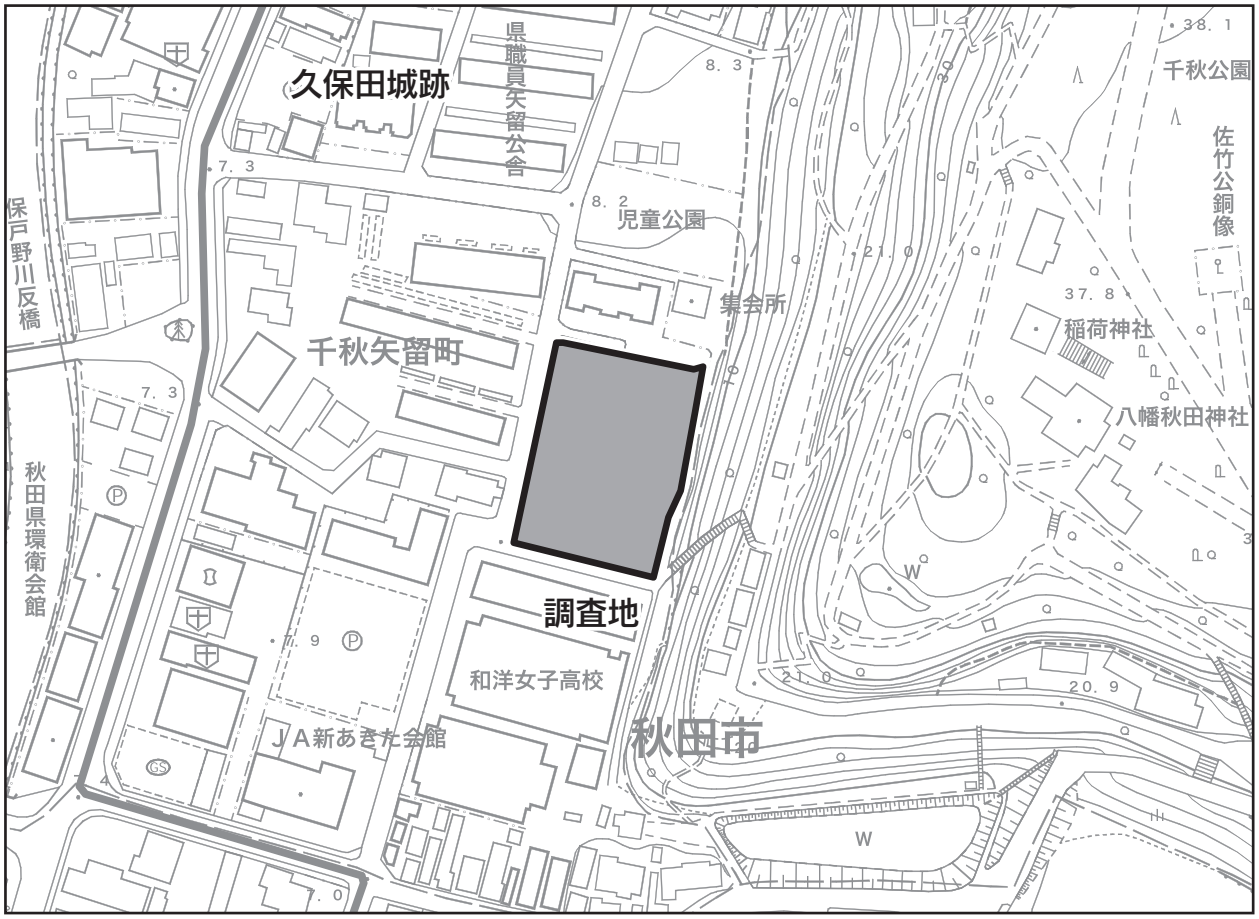
調査の結果、久保田城の内堀跡と兵具庫郭平場の一部を検出した。

内堀跡については、護岸を伴う西岸部の遺構とその付近の遺物包含層が確認された。東岸部は調査地外であり、東側から投棄されたであろう遺物の包含は確認されなかった。

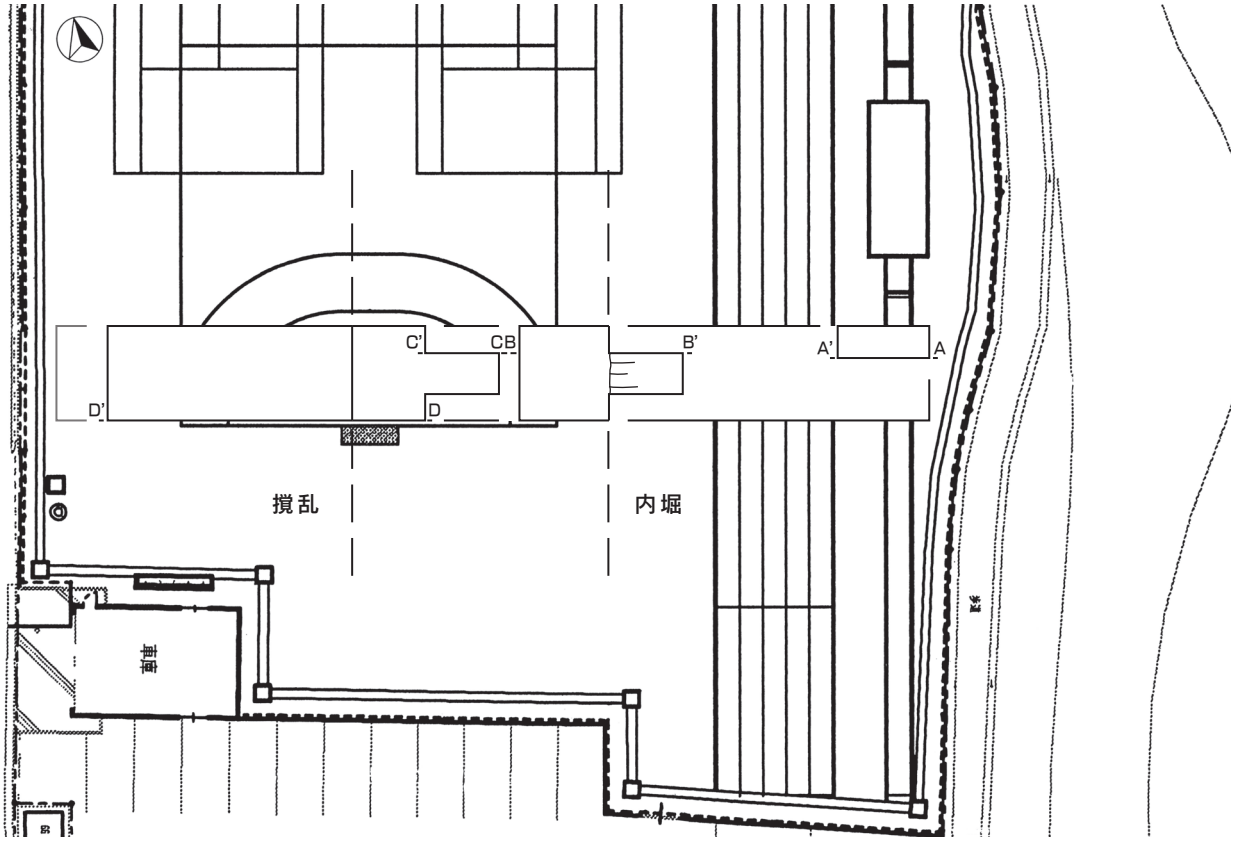
兵具庫郭については、造成された平場を調査地中央部で検出した。調査地西側については、撹乱・削平により遺物包含層と遺構は確認されなかった。

以上のことから、事業実施にあたり、事業予定地中央部の久保田城内堀西岸部と兵具庫郭平場部分について、文化財保護法に規程される「周知の埋蔵文化財包蔵地」における発掘調査が必要と判断され、埋蔵文化財保護の協議が必要である。

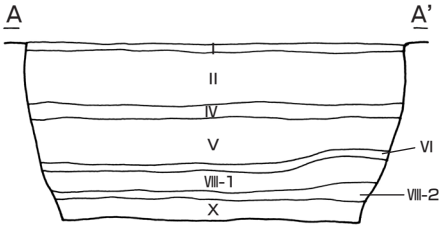
（調査担当：伊藤・眞井田）



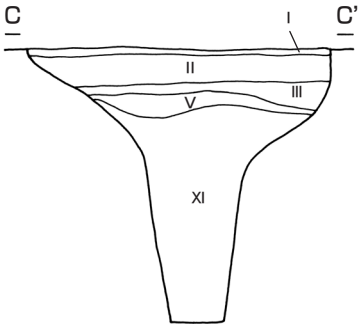
第９図　久保田城跡調査位置図（Ｓ＝１／2,500）



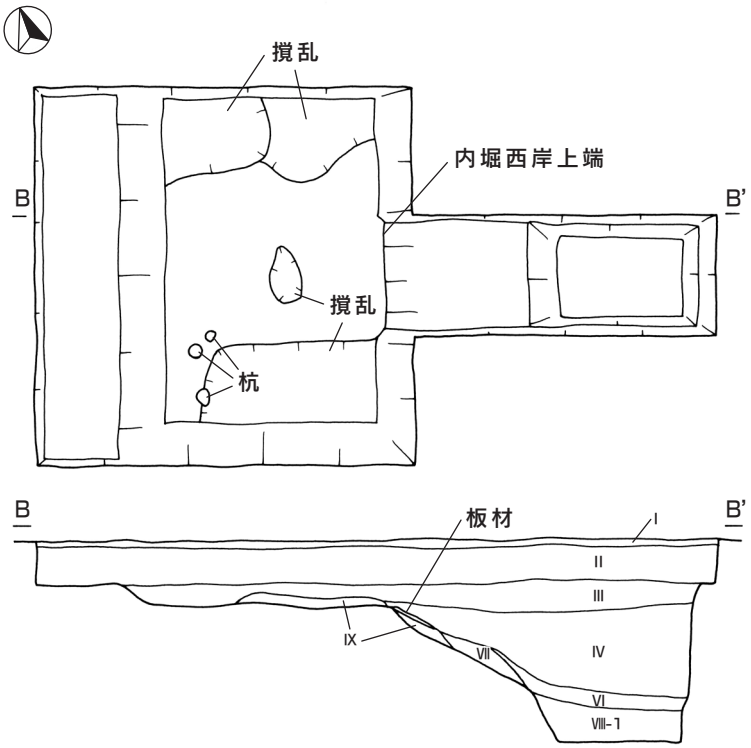
第10図　トレンチ位置図（Ｓ＝１／400）



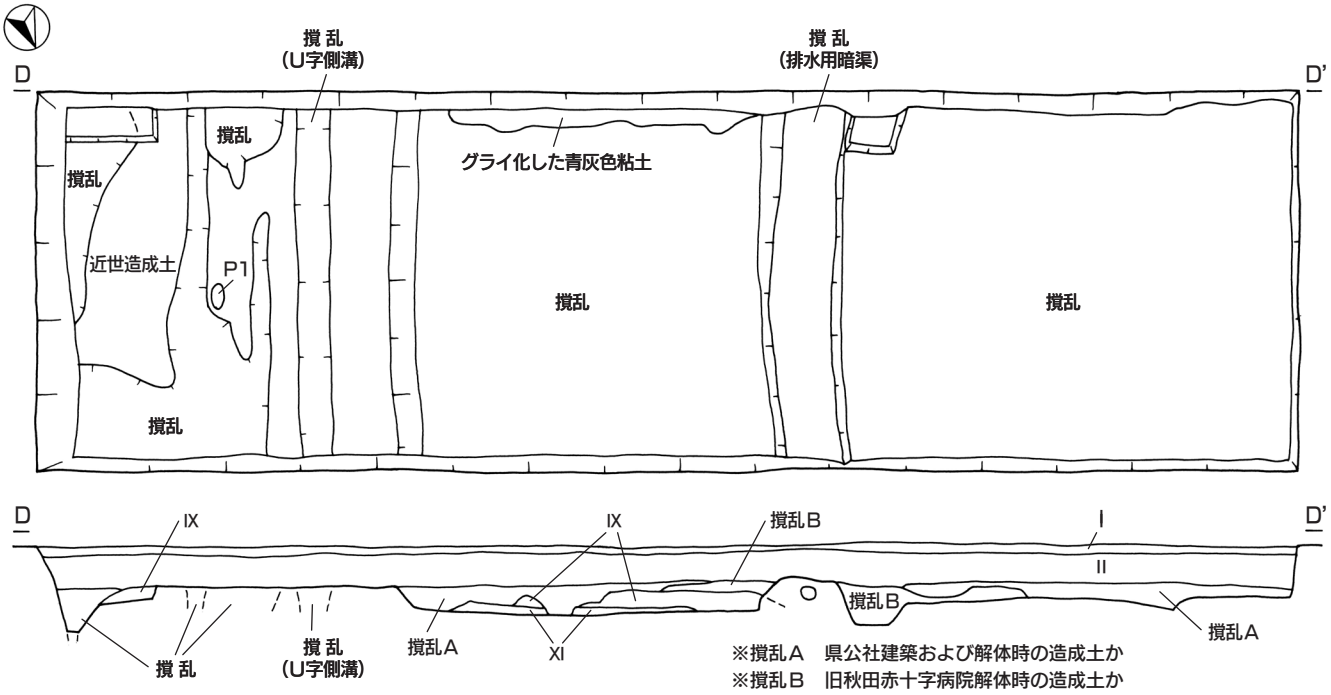
第11図　調査地東端（内堀側）断面図
（Ｓ＝１／100）



第12図　調査地中央（兵具庫側）断面図
（Ｓ＝１／100）



第13図　調査地中央（堀の立ち上がり）平面図・断面図（Ｓ＝１／100）



第14図　調査地西側（兵具庫側）平面図・断面図（Ｓ＝１／100）

調査地全景（東→）

調査地東端（内堀側）Ａ－Ａ'付近平面（北→）

調査地東端（内堀側）Ａ－Ａ’付近土層状況（北西→）

調査地中央　Ｂ－Ｂ’付近平面（南西→）

調査地中央（内堀西岸）Ｂ－Ｂ’付近平面（南東→）

内堀西岸の立ち上がり検出状況（東→）

内堀西岸の板材検出状況（北東→）

調査地西端（兵具庫平場側）Ｄ－Ｄ’付近平面（東→）

調査地西端（兵具庫平場側）Ｄ－Ｄ’土層状況（東側）（北→）

Ｄ－Ｄ’土層状況（中央）（北→）※大規模撹乱部分

報 告 書 抄 録

ふ り が な	へいせいにじゅうくねんど　あきたしいせきかくにんちょうさほうこくしょ
書 名	平成29年度　秋田市遺跡確認調査報告書
副 書 名	
巻 次	
シ リ ー ズ 名	
シリーズ番号	
編 著 者 名	眞井田　宏　彰
編 集 機 関	秋田市教育委員会（秋田市観光文化スポーツ部文化振興課）
所 在 地	〒010－8560　秋田県秋田市山王一丁目１番１号 TEL 018－888－5607　FAX 018－888－5608
発 行 年 月 日	2018年3月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
たかなしだい 高梨台	しんとうだあざたかなしだい 新藤田字高梨台173-2	05201	176	39 度 44 分 39 秒	140 度 7 分 59 秒	20170706 ～ 20170707	125.63	高梨台市営住宅建築工事（第３期）
開発予定地	かみきたでおおどももさき 上北手大戸百崎地内	05201		39 度 41 分 43 秒	140 度 9 分 26 秒	20171030	38.16	農地集積加速化基盤整備事業
開発予定地	さんないあざまるきばし 山内字丸木橋160,162,163, 38番3,158番2	05201		39 度 46 分 28 秒	140 度 11 分 11 秒	20171102	50.35	太陽光発電所建設事業
開発予定地	しもしんじょうかさおか 下新城笠岡地内	05201		39 度 47 分 31 秒	140 度 4 分 44 秒	20171106 ～ 20171107	66.56	農地集積加速化基盤整備事業
くぼたじょうあと 久保田城跡	せんしゅうやどめまち 千秋矢留町9番22	05201	217	39 度 43 分 17 秒	140 度 7 分 16 秒	20171113 ～ 20171120	230	県市連携文化施設整備事業に伴う関連施設移転事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
高梨台	散布地	縄文		瓦	
久保田城跡	城郭	近世	内堀跡、兵具庫郭の平場	陶磁器	護岸のための板材を検出

要 約	上記の所収遺跡は、これまで発見されている遺跡である。

平成29年度
秋田市遺跡確認調査報告書

印刷・発行　平成30年３月
発　　行　秋田市教育委員会
編　　集　秋田市観光文化スポーツ部文化振興課
〒010-8560
秋田市山王一丁目１番１号
TEL 018-888-5607　FAX 018-888-5608
印　　刷　秋田中央印刷株式会社